

学校通信

学校生活における大切なお知らせです

2011年9月20日発行 第101号 (毎月1回発行)

教務からのお知らせ	P4 ~ P6
事務室からのお知らせ	P7 ~ P9
進路支援からのお知らせ	P10 ~ P13
生徒支援からのお知らせ	P14 ~ P15
保健室からのお知らせ	P15
カウンセリングスペースからのお知らせ	P15 ~ P18
「近通体」のご案内	P19
今月の聖句	P20

<同封物>

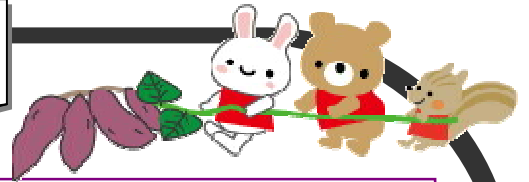
- 「学習アシストルーム」のご案内(緑) <全員>
 - 進路ニュース(青) <3年次>
 - 「教育講演会」のご案内(黄) <全員>
 - 「フィジカルサポートスペース」のご案内(白) <全員>
 - 「進学教育センター」からのご案内(桃) <全員>
 - 「ファミリーカーニバル」のご案内(黄・両面) <全員>
- 学校新聞17号

9/20(火) ~ 9/29(木)に、後期講座登録を実施します。
詳細は、「教務からのお知らせ」(P.4)をご覧ください。

YMCA学院高等学校

TEL 06(6779)5690 FAX 06(6779)1831 <http://www.ymcagakuin.ac.jp>

「学校通信」はバックナンバーを含め、本校のホームページで閲覧できます。

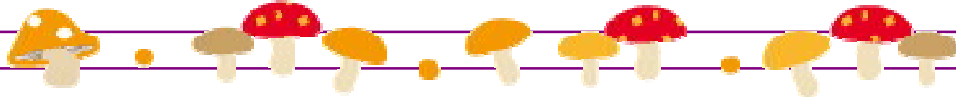


「知っていますか？大阪YMCAの復興支援活動」

誰もが心を傷め、何かできることを模索した東日本大震災の発生から半年が経ちました。テレビでは「被災地の今」と題する特集が生まれ、家族や家や仕事を失って今なお生活再建の自処が立たない方々を多く取り上げていました。被災された皆さんの心中を思うと胸が痛みます。でも具体的には何もできないでいることに気付かされます。現在被災地では、国の施策とは別にいろんなNPOや企業が復興支援活動を行っています。もちろん大阪YMCAをはじめ日本の各地にあるYMCAでも震災直後から救援・復興を目的とした救援支援活動、及び募金活動を行っています。この夏大阪YMCAでは、被災した青少年の心のケアを目的としたキャンプを実施しました。近畿圏に避難している子どもたちのための「サンシャインキャンプ」と仙台YMCAに関する発達障害の子ども達と家族を招待した「六甲山親子キャンプ」です。このキャンプの思い出がこれからの生活の力になる一助となることを祈ります。また、9月に入ってから多くのスタッフとボランティアが被災地での支援活動を行ってきました。

時の経過とともに震災の記憶は薄れていきますが、常に關心を持って、できる範囲の方法で支援し続ける必要があります。大阪YMCAでは今後も長期にわたる支援を視野に、特に災害の際に弱者となる子どもや高齢者、障がい者、在住外国人の方々のためにできることに取り組んでいこうとしています。ぜひこれらの取り組みを覚え、今後のYMCAの震災復興支援を支え、そしてお祈りください。

今後の復興支援の取り組みやそれらの報告についてはぜひ大阪YMCAのHPをご覧ください。
<http://www.osakaymca.or.jp/>



本校の卒業要件

- 高校に3年以上在学すること。
- 74単位以上修得すること。
- 必修科目は履修認定を得ること。
- 「総合的な学習の時間」を3単位以上修得すること。
- 特別活動に30時間以上参加すること。

(『2011年度版 学務の手引き』より抜粋)

大阪YMCA 年間聖句

「希望をもって喜び、
苦難を耐え忍び、
たゆまず祈りなさい」

ローマの信徒への手紙 12章 12節 (新共同訳)

Raising strong children and building a loving community
OSAKAYMCA  Since 1882

2011年6月～2012年5月

スケジュール

日	曜	行事予定など
9 月		
21	水	特別活動：後期講座登録（3年次予約者）
22	木	特別活動：後期講座登録（3年次予約者）
23	金	（秋分の日）
24	土	11年度前期卒業式（該当者のみ） 特別活動：街美化ボランティア
25	日	
26	月	特別活動：後期講座登録（2年次予約者）、進路サポートスペース（10：00～13：00）
27	火	特別活動：後期講座登録（2年次予約者）
28	水	特別活動：後期講座登録（1年次予約者）
29	木	特別活動：後期講座登録（1年次予約者）
30	金	指定校推薦校内1次応募締切日
10 月		
10/1	土	
2	日	
3	月	「大学入試センター試験」高校宛願書提出締切日、進路サポートスペース（10：00～13：00）
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	（体育の日）特別活動：チャリティーラン
11	火	YMCA記念日
12	水	後期登録講座の「個人時間割」・「レポート集」など発送（予定）
13	木	
14	金	
15	土	講演会「教育を共に考える集い」
16	日	
17	月	後期スクーリング開始日（12/22まで）、進路サポートスペース（10：00～13：00）
18	火	
19	水	
20	木	「学習アシスト・ルーム」開始日（12/22まで）〔学校通信〕発送予定
21	金	
22	土	
23	日	
24	月	
25	火	
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	
11 月		
11/3	木	（文化の日）大阪南YMCA主催ファミリーカーニバル

教務からのお知らせ

【後期の講座登録】下記の日程で実施。日時は事前に必ず担任と予約してください。

3年次 9月20日(火)、21日(水)、22日(木)
2年次 9月26日(月)、27日(火)
1年次 9月28日(水)、29日(木)

事前に必ず担任と日時を予約をしてください。予約をせずに来校した場合は、登録することができず、あらためて来校しなければなりませんのでご注意ください。

後期の講座登録は上記期間のうち1日、1人10～20分程度で行います。

9月16日(金)のホームルームで、担任と個別面談の日時を予約しています。

(ホームルームを欠席した人は、必ず担任と連絡をとってください)

予約の日時には確実に来校してください。

予約した日時に来られない時、欠席した時は、必ず担任に連絡をしてください。

事前に〔2011年度後期開講講座の概要〕と〔2011年度後期時間割〕(いずれもホームルームで配付、欠席者には送付)をしっかりと確認して、あらかじめ自分が学習しようと思う講座を選んでおき、講座登録時に担任と相談しながら決めて登録します。

【レポート集・時間割・教科書の発送】

後期の講座登録にもとづき、皆さんの届け出住所あてに、「個人別時間割・レポート集・バーコードシール・返信用封筒をセットにしたもの」と「教科書」をお送りします。

「個人別時間割」等のセットは10月12日(水)に本校から発送する予定です。

このセットが届いたら、すべてそろっているか、とくに自分の登録した講座のレポートに間違いがないか、レポート袋の中に全回分のレポートが入っているか確かめてください。

教科書はきょうばんどう教文堂という書店から送られます*。入荷の都合等により、配達の詳細な時期は予告できませんが、おそくとも10月17日(月)のスクーリング開始までには配達される見込みです。届いた教科書もすべて間違いがないか調べてください。

*本校では教科書の受け渡し(販売)のために、教科書販売会社「教文堂」に発送を委託しています。

「教文堂」とは個人情報の管理が図られるよう、必要かつ適切な監督を行っています。

レポート集や教科書等に間違いや不足のものがあつた場合、学校に連絡してください。

スクーリング開始後、学校で交換や不足物をお渡しします。

誤送・不足物の申し出期限は、11月4日(金)で、それを過ぎると再発行または再購入として有料になる場合がありますので気をつけてください。

レポート類や教科書が何らかの事情でスクーリングまでに配達されなかった場合でも、登録した講座には出席してください。

(講座登録時の「生徒用控」で登録講座を確認してください。)

【後期のスクーリング開始】 10月17日(月)開始

スクーリングは10月17日(月)より始まります。「個人別時間割」にもとづき、各自の受講講座が始まる最初の曜日・時限から出席してください。

「個人別時間割」に表示されていない、または表示と異なる講座もありますので、各講座の「学習計画表」も合わせて確認してください。

【スクーリング時の持ち物】

スクーリングに必要な持ち物は、各講座の「学習計画表」や講座別の「案内紙」などで確認してください。

「美術」、「書道」、「ペン習字」、などは、用具が初回から必要です。忘れると、スクーリング出席が認められません。

詳しいことはレポート袋に説明書きが入っていますので確認してください。

「体育」の1回目の授業は、教室で行いますので、運動の用意は要りません。

「スポーツ（アクアティックスポーツ）」は、1回目からプールに入りますので、水着（セパレートは不可）等の用意が必要です。

【レポート提出について】

各レポート用紙には、バーコードシール貼付（レポート回数番号に注意）を正確に行い、提出期限を守ってください。

バーコードシールを貼り忘れると提出として認められず、またレポート返却ができませんので十分気をつけてください。

多くの講座で、レポートの提出期限は、関連内容のスクーリング日のほぼ1週間後としています。各回の期限に遅れると評価が下がりますが、出し遅れや再提出の場合でも、最終提出締切日（2012年1月6日）まであきらめずに出しましょう。

レポート受理に関する事務取扱いについては「事務室からのお知らせ」（P.7）をご覧ください。

【「調査書」「推薦書」の発行について】

大学・短大・専門学校に出願する際には、高校が発行する「調査書」が必要になります。

各学校の出願に必要な書類および出願期間を確認し、「調査書」が必要な人は、担任を通して早めに申し込んでください（申込みから発行まで、1週間かかります）。

本校での「調査書」の発行は、8月22日(月)から行っています。

ただし、前期の成績の入った正式な「調査書」は、10月3日(月)から発行します。

「推薦書」が必要な場合は、作成に時間がかかる場合もありますので、早めに担任に申し込んでください。

「調査書」「推薦書」の発行については、「事務室からのお知らせ」（P.8）「進路支援からのお知らせ」（P.10）もご覧ください。

【忘れ物について】

前期末までに職員室に届けられ、保管されている忘れ物について、後期の講座登録期間[9月20日(火)～29日(木)]中に講座登録の会場に展示しますので、心当たりの方は確認ください。自分のものがあれば持って帰ってください。

保管されている忘れ物は、10月末をもって処分しますのでご了承ください。

【制作品の持ち帰りのお願い】

芸術科や家庭科などで制作した作品で、これまで学校で保管されていたものは、ホームルームや後期の講座登録などで来校の機会に、家に持ち帰ってください。

10月末までに引き取りのない場合は、個々人に通告することなく処分しますので、ご了承ください。

街美化ボランティア

9月24日(土) 16:00より約1時間(雨天決行)

作業のできる軽装で、10分前に1階ロビーに集まってください。その際、警察への届け用紙と学校の参加カードの両方に記名してもらいます。

(特別活動1時間。ただし、遅刻や途中退出の場合は認定できません。)

事務室からのお知らせ

【各種奨学金について】

現在募集中の各奨学金について下記の表に記載していますので、申込期限等を確認のうえ
申込希望の場合は事務室へお申し出ください。

名称・内容・金額					申込書学校提出締切日		
貸与	日本学生支援機構(旧日本育英会) ・平成24年度大学等奨学生予約採用 (対象) 来年大学・短大・専門学校等に進学した場合の予約奨学金 (貸与月額) 下記表参照					第2回申込期限 (第二種のみ) 10月11日(火) 〔候補者内定12月中旬予定〕 第3回申込期限 (第二種のみ) 1月10日(火) 〔候補者内定3月中旬予定〕 第一種予約奨学金の申込受付は 終了しました。	
	区分	第一種奨学金(無利子貸与)					第二種奨学金 (有利子貸与)
		大学		短大・専門学校			
		自宅	自宅外	自宅	自宅外		
	国公立	45,000円	51,000円	45,000円	51,000円		30,000円・ 50,000円・ 80,000円・ 100,000円・ 120,000円 から選択
私立	54,000円	64,000円	53,000円	60,000円			
上記貸与月額又は貸与月額30,000円のどちらかを選択							
入学時特別増額貸与奨学金(初回基本月額に有利子奨学金を増額して貸与する制度)も同時に申込みが可能です。金額は10万円・20万円・30万円・40万円・50万円から選択。							

【住所等変更手続きについて】

現在、学校に届けている住所や電話番号などが変更になった場合は、速やかに「各種変更届」に記入・捺印のうえ事務室へ提出してください。

あわせて生徒証明書の再発行が必要な場合は、写真を提出してください。

また、通学経路が変わる場合は、「通学割引証申請カード」を変更しますのであわせて提出ください。

届出用紙は事務室にある他、『2011年度版 学務の手引き』の巻末にもあります。コピーして使用してください。

学校からはレポートや成績に関する書類等、重要な郵便物を定期的を送付しています。

住所変更の際は、郵便物に変更前の住所に届いてしまうことがないように、郵便局に「転居届」を提出し、必ず郵便物転送の手続きを行ってください。

【受験に必要な証明書発行手続きについて】

受験に必要な証明書を必要とする場合は、「証明書発行願(受験用)」に記入して原則として下記の(窓口申込)により申し込んでください。特別な事情がある場合には下記(郵送申込)も受け付けますが、必ず電話でHR担任と確認のうえ行ってください。電話・FAXやメールでは申込みできません。

証明書発行までに1週間を要します。下記の表を確認のうえ日数の余裕を持って手続きしてください。

窓口申込：受験予定校の願書・募集要項を持参してHR担任と相談、「証明書発行願(受験用)」を記入のうえ担任確認印をもらってから事務室窓口へ手数料を添えて申し込んでください。(生徒証明書の提示が必要)

郵送申込：『2011年度版 学務の手引き』巻末の「証明書発行願(受験用)」をコピーして記入・押し印し、手数料と返信郵送料の合計料金分の郵便切手を同封して郵送してください。(郵便が事務室に届いた日が受付日となります。発行に日時を要しますので、余裕をもって申し込んでください。)

必ず事前に電話でHR担任と確認のうえ行ってください。

手 数 料
発 行 日

種 類	申込用紙	通常		英文発行	
		手数料	発行日	手数料	発行日
成績・単位修得(見込) 証明書	証明書発行願 (受験用)	300 円	受付から 1 週間後	300 円	受付から 1 週間後
調査書					
推薦書		500 円	1,000 円		

返信郵送料

証明書の枚数	郵送料(普通)	速達料金
1~2 通まで	80 円	+ 270 円
3~5 通まで	90 円	
6~10 通まで	140 円	

【2011年度後期学費の納入について】

2011年度後期学費納入案内については、10月下旬頃に学校から郵送でご案内の予定です。

納入期限日は、11月15日(火)を予定しています。

学費の納入期限の延期(延納)または、分割納入を希望する場合の手続き書類の提出期限日も同様に11月15日(火)です。手続きの詳細については納入案内に記載いたしますのでご確認ください。

【高等学校等就学支援金について（対象者のみ）】

就学支援金の現在の状況について、9月16日付「国の就学支援金についてのお知らせ」にてお知らせをしています。制度の詳細や支援金の残りの月数、単位数について記載していますのでご確認ください。

後期学費については、前期同様に「支援金」を差し引いて、10月下旬頃にご案内の予定です。年度の途中で婚姻またはその解消により、保護者に変更があった場合は、新たに申請書の提出が必要です。毎月初日の保護者の市町村民税の所得割額が基準となりますので、加算の対象となる場合は、必ずその時点で手続きを行ってください。

今後の加算申請については、提出があった月の翌月から支給対象とすることができます。

しかし、学校が定める期限までに提出できなかったやむを得ない理由があると知事が認めた場合は、例外的に支給開始月を遡及することができるのとことです。

この場合は、やむを得ない理由を記載した「理由書（学校にあります）」の添付が必要です。

該当する場合は、事務室へお申し出ください。

【平成23年度大阪府私立高等学校等授業料支援補助金制度について（対象者のみ）】

大阪府は、年収めやす350万円程度未満の世帯（平成23年度新入学生は年収めやす610万円程度未満）の私立高等学校に在籍する生徒の学費を実質無償化する制度を行っています。本校は、大阪府知事より「就学支援推進校」の指定を受けましたので、この制度の対象校となっています。

この補助金は、学費と国の就学支援金との差額を大阪府と学校とで負担するものです。

対象となる要件は下記の いずれもが該当することとなっています。

すでに対象者からは申請書を提出いただいているところですが、まだ提出していない場合は、補助金を受けることができなくなりますので至急申請書を提出ください。

（対象となる要件）

生徒が国の就学支援金の対象となっていること

2011年10月1日に本校に在籍していること

生徒およびその保護者等（父母）が大阪府内に在住していること

保護者等（父母）の市町村民税の所得割額の合計が18,900円未満であること

（平成23年度の新入生については135,900円未満）

【大阪府私立高等学校等授業料減免制度について】

大阪府では、大阪府等の私立高等学校に在籍する生徒の学資負担者（大阪府内在住）の方が、経済不況に伴って今年になってから家計が急変したために学費の納入が困難になった場合、生徒の修学を保障するために学校に対し補助金を交付（全額または半額）する制度があります。

対象となる要件は下記の いずれかが該当することとなっていますが、それ以外にも細かい条件があります。

申請を希望する場合は事務室へご確認のうえ申請書を請求ください。

（対象となる要件）

経営状況の悪化に伴う会社の倒産・解雇により失職した場合

会社等の経営状況の悪化に伴い収入が前年より著しく減少した場合

進路支援からのお知らせ

【高校時代を大切に】

高校生が成長していく時、何かをきっかけにある時期大きく^{へんげう}変貌をとげるということがあります。これにはそれまでの何らかの積み重ねがバネになっていることが多いです。同時に、本人も周囲も気づかないうちに知らず知らずに成長しているということがあります。久しぶりに友人や親戚に再会した時などに、「見違えるようになった」と驚かせたことがあるのではないのでしょうか。青年期の成長は変化が大きく、周囲の影響を受けやすいし、また努力が結果にあらわれやすいものです。それだけにこの時期の過ごし方は大切になってくると思います。高校生の時にしかできないこと、また高校生の時にしておかなければならないことを大切にしてほしいと思います。

【進路相談 / 面接練習について】

本校では特別に進路面談期間を設けてはおりませんが、H R 担任との進路相談につきましては年間を通じて随時行なうようになっております。ご希望の方はH R 担任と面談日時を調整してください。就職や進学（推薦入試）で面接練習が必要な場合なども、まずはH R 担任と相談してください。なお、面接試験が終わったら「面接試験報告書（進学用）」もしくは「就職受験報告書（就職用）」をH R 担任または進路担当者に提出してください。

【3 階進路コーナーを活用しよう】

進路(進学・就職)に関する情報は3階「進路コーナー」に掲示しています。また「進路コーナー」に置いてある案内書や募集要項は自由に持ち帰ることができますので活用してください。なお、進路に関する情報は、1階職員室カウンターでも見ることができます。

進学希望の皆さんへ

【調査書・推薦書の発行について】

大学・短大・専門学校に出願する際、高校が発行する「調査書」が必要になります。調査書が必要な卒業年次生は、1階職員室カウンターで「証明書発行願」を受け取り、必要事項を記入した上で担任に申し出てください。その際、出願先、受験方式は必ず記入するようにしてください。出願先が決まっていない場合、調査書の発行はできません。また、保護者名（押印）を忘れないようにしてください。（本人が成人の場合は不要です。）

調査書の発行には、申込みから1週間かかります。必要な費用を添えて余裕をもって事務室に申し込んでください。郵送での手続きも可能です。

推薦書の発行については、作成に時間がかかる場合もありますので、早めに担任に申し込んでください。本校が「推薦書」を発行する場合、以下の条件を満たしていることが必要です。

- ・前期末で54単位以上修得していること。
- ・指定校推薦の場合は、60単位以上修得していること。
- ・賞罰規定の「担任注意」以上を受けた人は指定校推薦を受けられません。
- ・指定校推薦の申込みには、事前に保護者同伴の四者面接が必要です。

調査書・推薦書の発行についての詳細は、「事務室からのお知らせ」(P.8)をご覧ください。

【専願での出願について】

専願で大学・短大・専門学校に出願する場合、合格すると必ず入学することが条件となります。
原則として他の大学・短大・専門学校を併願することはできませんので注意してください。指定校推薦や多くのAO入試、一部の公募推薦入試に見られますので、出願に際してじゅうぶん注意してください。

【指定校推薦等について】

卒業年次生で指定校推薦等を希望する人は、学校通信8月号に同封した「指定校推薦入試等申込みについて」をよく読み、保護者同伴の四者面談の上、9月30日(金)(出願締切が10月13日(木)以前の場合はその2週間前、土日曜・祝日の場合はさらにその前日)までに、担任に申込書を提出してください。

指定校推薦等の追加校については学校名のみお知らせしています。詳細についてはすでに発表済みの分も合わせて1階の職員室カウンターで確認してください。募集要項を見てもらうこともできます。

指定校推薦の追加校

大学

京都文教大学、大阪女学院大学

専門学校

大阪教育福祉専門学校、JAPANサッカーカレッジ、大阪国際福祉専門学校、
福岡教員養成所、ヴェールルージュヒ美容専門学校、HAL大阪

【大学入試センター試験について】

センター試験は、国公立大学の一次試験であるとともに、多くの私立大学が利用する試験です。試験は2012年1月14日(土)15日(日)に実施されます。大学進学希望者はしっかり準備を進め、積極的に受験してください。「志願書(受験案内)」が必要な生徒は、1階職員室カウンターで所定の用紙に必要事項を記入した上で受け取ってください。

現役生の場合、出願は高校で取りまとめて行うことになっています。個人では出願できません。

高校への「志願票」の提出締切は10月3日(月)です。出願を希望する人は、それまでに検定料を指定の金融機関の受付窓口(ATMは利用しないでください)で払い込み、志願票に必要事項を記入し、「検定料受付証明書」を所定の位置に貼って提出してください。また、志願票は各自コピーをとっておいてください。

高校への「志願票」提出の際、1階職員室カウンターで所定の用紙に必要事項を記入し、必ず「本人控え」を受け取って保管しておいてください。

【大学・短大・専門学校の願書の入手について】

大学・短大・専門学校の願書を手に入れるには、オープンキャンパスなどを利用して直接願書を受け取る、ホームページ等から申し込んで郵送してもらう、志望校の願書一括請求サービスを利用する、などがあります。志望校が決まっている人は、はやめに願書を取り寄せましょう。

【模擬試験の案内】

一般入試を考えている人は、落ち着いて学習を続けるとともに模擬試験を受けましょう。模擬試験の結果は今後の受験校選びの資料となります。積極的にチャレンジしましょう。申込みは2階進学教育センターで行ってください。

- ・ 次回3年次生 10月9日(日)記述模試、11月6日(日)マーク模試
- ・ 次回1、2年次生 11月6日(日)記述模試

【「看護への道」説明会(1、2年次生対象)】

看護職をめざす1、2年次生を対象にした進学説明会が、大阪府看護協会主催で実施されます。希望者は9月29日(木)までに1階職員室カウンターで申し込んでください。

- ・ 日時 10月29日(土)13:30~15:30
- ・ 場所 社団法人大阪府看護協会(ナーシングアート大阪)

【オープンキャンパスに参加しよう】

卒業年次生だけでなく、1、2年次生の進学希望者もオープンキャンパス(学校見学会)に積極的に参加し、自分の目で各大学・短大・専門学校の特徴を確認しましょう。

オープンキャンパスに参加すると特別活動2時間分(上限は10時間)が認定されます。1階職員室カウンターで「参加報告書」を受け取り、必要事項を記入して提出してください。その際、当日配布されたプリントや担当者の名刺など、参加の証明になるものを貼ってください。

【予約奨学金について】

予約奨学金とは、日本学生支援機構が実施している奨学金の制度で、大学・短大・専門学校等へ進学を希望する卒業年次生が入学前に(高校在学中に)奨学金を予約する制度です。進学先が確定していなくても申込みができます。詳しくは「事務室からのお知らせ」(P.7)をご覧ください。

就職希望の皆さんへ

【学校紹介で就職を希望する卒業年次生へ】

2012年3月高校卒業予定者の就職採用選考が9月16日(金)より始まっています。求人票をこまめにチェックして、希望先があればHR担任または就職担当(金子・石橋)まで申し出てください。応募書類(履歴書・調査書・紹介状)は学校から郵送します。応募先が決まった人は調査書を申し込み、履歴書(学校にある指定のもの)を作成してください。

内定した会社は辞退することができませんので、慎重に考えて応募してください。

最初の応募で決まらなくても、内定まで、求人票の閲覧 応募先の決定 履歴書作成・調査書申込み 応募 選考(面接)という流れでねばり強く就職活動を続けてください。11月30日(水)までは、1人1社の応募です。12月1日(木)以降、会社が併願を認めている場合は1人2社の応募が可能となります。また、11月15日(火)に「合同求人説明会」(場所未定)が行われますので、その時点で就職が決まっていない人は活用してください。

面接が終わったら、すぐに「就職受験報告書（就職用）」をHR担任または就職担当（金子・石橋）に提出してください。不適切な違反質問があった場合、学校やハローワークが対応することになります。違反質問とは、例えば保護者の職業や家庭状況、信仰している宗教、支持する政党、男性（女性）に限定しての質問などで、本人の意欲や能力、適性とは関係のない質問です。

【縁故紹介や一般求人を見て就職を希望している卒業年次生へ】

家族や知り合い等の紹介（縁故紹介）で就職をする場合、または新聞やインターネット、雑誌の一般求人情報を見て応募する場合、各自がそれに応えられるように準備しておいてください。現在しているアルバイトからそのまま正社員に採用というケースも見られます。多くの場合、学校からの書類は必要ありませんが、履歴書が必要になる場合がありますので、各自準備を進めてください。

縁故紹介で就職をする場合でも、あらためて学校紹介のかたちをとって応募するというケースも見られます。その場合はHR担任または就職担当（金子・石橋）に相談してください。

生徒支援からのお知らせ

【スクーリングが始まるまでの来校について】

後期スクーリングが始まるまで、生徒のみなさんが学校に来校できるのは各自の後期講座登録日です。

2F ライブラリー、7F スポーツヤードを含めて学校施設も使用することはできません。

証明書発行などで事務室に用のある人、担任と相談する必要がある人は来ることができます。

3年次生のみなさんは進路相談などで学校に来る機会も多くなると思います。担任が不在のこともあるので、事前に電話などで約束を取るようにしてください。

【スクーリングが始まったら】

本校では、生徒の皆さんの学習環境を守るため、『2011年度版 学務の手引き』の「学校生活上の決まり」(P.40、下記掲載)や「校内生活における確認事項」(P.41)を定めています。もう一度確認し、学校に来たときはきちんと守りましょう。

学校生活上の決まり

学校生活全般

- (1) 自動車・バイク・原付での通学(スクーリング(授業)期間中以外も含む)を禁止します。自転車通学を希望する人は学校の許可を受け、許可証を貼った自転車を使用してください(駐輪場は地下駐輪コーナー)。駐輪スペースに限りがあるので、整理整頓に心がけてください。
- (2) 生徒(成人を含む)の喫煙は厳禁です。学校内および学校の周辺を含めすべて禁煙です。
- (3) 5階以上の階については、体育などのスクーリングで使用するとき以外、生徒の立ち入りはできません。また、地階についても自転車の駐輪時以外は立ち入りできません。
- (4) 学校施設のスクーリング目的以外の使用には、あらかじめ学校の許可が必要です。無断での使用はできません。
- (5) メールでの中傷などを含め、他の生徒に対する迷惑行為を禁止します。

スクーリングに関して

- (6) スクーリング(授業)中や単位認定テストの時間中の教室内での携帯電話の使用は禁止します。必ず電源を切っておいてください。
- (7) スクーリング中、単位認定テストの時間中における私語など、授業やテスト実施に迷惑を及ぼす行為は禁止します。
- (8) 上記(1)～(7)以外にも、学校生活において著しく逸脱した行為を厳禁します。

上記の事項を遵守できない生徒は、規定による措置をします。(『学務の手引き』P.39「賞罰規定」参照)

<生徒支援からのお願い>

貴重品の自己管理を徹底しましょう

貴重品は自分自身でしっかりと管理しましょう。

教室、ロビー等で席を離れる際には荷物を置きっぱなしにしないなど、自己管理を徹底させましょう。

校内美化を心がけましょう

校内のすべての人が気持ちよく生活できるように校内美化を心がけてください。

教室や机の中へのごみの置き去りはもってのほかです。ロビー、ライブラリー等を使用した場合も片付けをした後に立ち去りましょう。



【「学習アシストルーム」について】

後期スクーリングスタートに伴い、「学習アシストルーム」を開室します。
同封の用紙にて申し込んでください。前期登録者もあらためて申し込んでください。

2011年10月20日(木)～12月22日(木)の期間中(11月3日を除く)

毎週火曜・木曜の11:00～16:50に開室

登録制 各期:5,000円

「学習アシストルーム」は、自学自習の習慣をつけるために開設しており、教室にいる教員や他の生徒と一緒にレポート作成に取り組みます。

詳細は、同封の『「学習アシストルーム」のご案内』をご確認ください。

保健室からのお知らせ

*後期スクーリング開始までの健康管理について

温度差に注意!

朝夕と昼間の気温差、冷房が効いている場所とそうでない場所の温度や湿度の差で、体調を崩しやすい時期です。調節しやすい服を選びましょう。

生活リズムを整える

食事や睡眠が十分ではないと、栄養が補給できず、疲労も回復されないため、免疫力が低下します。こまめに水分も補給しましょう。

不調を感じたら医療機関へ

早期に対応することで重症化せず、早く治りやすくなります。自己判断はなるべくしない方が良いでしょう。

スクーリングの開始にあたり、健康面で気になることがある場合は、担任又は保健室へ連絡してください。

カウンセリングスペースからのお知らせ

カウンセリング

前期の開室は終了しました。後期は10月17日(月)から開室します。

*開室時間と担当者

月曜日:石井邦也さん 13:30 ~ 16:30

水曜日:川口彰範さん 10:00 ~ 12:30

浅野献一さん 13:30 ~ 16:30

金曜日:道嶋公子さん 13:30 ~ 16:30

保護者の方もご利用いただけます。お問い合わせ、ご予約は保健室(後藤)まで。

<2011 年度前期 保健室・カウンセリングスペース便り>

<今回は、保健室とカウンセリングスペースに関わる方々に、前期終了のコメントを頂きました。>

『時に、素顔に』～カウンセリング雑感：2011 前期～

水曜日担当 浅野 献一

人は、さまざまな仮面をつけて生きています。

仮面と言うと、何か“嘘っぽい”響きがあって聞こえが悪いですが、「仮面 役割」と考えていただいといていいと思います。

たとえばその役割とは、YMCA 学院高校の生徒であるとか、母親であるとか、子どもであるとか、社会的な肩書である場合もあるでしょう。

私たちは何かの役割を担って生きています。そのこと自体は、自然なことであり、悪いことでも何でもありません。逆に、何にも役割を得ていないということは、その存在自体が無いということと同じになってしまいます。そのようなことは、ありえないわけです。

人は何かの役割を得て、社会的にも認められて、生きていっているのです。

ですが、時にその役割を演じることが自体が、重荷になることがあります。ずっと 24 時間、365 日、その役割（誰かの子どもであるとか、母親であるとか）を負い続けるとき、その重荷に耐えきれない時があるのではないのでしょうか。

時には、その役を降りて、言葉を変えれば、仮面（ペルソナ）を脱いで、素顔の自分に戻る時も、生き生きと生きていくためには必要なのです。

今日、そっと、ひとりの時間にメイクを落とし、素顔の自分に戻ってみませんか。

『心に咲いた花』

保健室担当 後藤 さやか

前期スクーリング終了後、保健室の様態替えをしました。身長計や体重計などを移動させて、小さな本棚を置きました。まだまだ本は少ないですが、生徒さんに知っておいて欲しいことや、生徒さんが興味・関心を持てる本を置けたらいいなと思っています。

8 月のお盆の時に、奈良の「燈花会」に行きました。奈良公園一帯で、燈花と呼ばれるろうそく数万本に火が灯されるイベントです。

本当にたくさんのろうそくが、道や橋、池に沿って置いてあったり、文字や絵になっていたりと、とても見ごたえがあってキレイで、心と身体の疲れがふわっと軽くなりました。

震災が起こったこともあってか、「がんばろう日本!」という応援メッセージや、「絆」の文字、花びらがハート型になっている花の絵などがありました。

夜に東大寺金堂（大仏殿）へ無料で入ることもでき、神聖な気持ちになって帰りました。

今年の誕生日に、岩塩の器に入ったキャンドルをもらいました。片手では持てないくらい大きくて重たい器で、湿気が多いと岩塩が溶けてしまうそうです…。けれど、キャンドルに火を灯すと、淡いピンク色にぼうっと光って、気持ちまでやわらかくなります。

夏は終わりましたが、冬も節電は必要になると言われています、たまにはろうそくの灯かりも素敵かもしれません。

先日、職員室で近くの席の方と話していて、思い出したことがあります。幼稚園入園の日、園長先生が言っておられた「銀色の花」の話です。

「そのお花は、みんなの心の中に咲いていますよ」と言われました。

「銀色の花」と言われても、知っている花の中に銀色の花はないし、心の中を見ることはできません。

でも私はその時、話している園長先生の笑顔が花のように見えて、その花が先生の心にも咲いているんやな、と思えたのです。その日から、園長先生が大好きになりました。

「悲しい気持ちになった時は、花もしおれるけど、元気になったらまたキレイに咲く」「気にかけていれば、枯れずに咲き続ける」…残念ながら、話の細かいところは忘れてしまっています。

それでも、園長先生の人柄や、笑顔は残っています（厳し～く怒られたこともあったんですけど…）。

今思い返してみると、「銀色の花」は「笑顔」（というより、ひとの表情？）と、とてもよく似ているように思います。

花びらの数や形が違っていても、みんなの心の中に咲いている「銀色の花」、自分のだけじゃなくて、関わる人すべての花がキレイに咲いて欲しいと願っています。

『虹とコラージュとカウンセリング』

水曜日担当 川口 彰範

5月3日の昼ごろ、震災のボランティアに行っていた石巻市で、真ん丸い大きな虹を見ました。

瓦礫だらけの現実離れした風景の上に浮かび上がった虹はなんとなく怪しげで、「大きな地震の前触れじゃないか」と言いはじめる人も。怖い気持ちになりながら、しばらく空を見上げていました。

7月12日の夕方、天満橋の駅の近くを歩いていて、ビルの隙間に虹が見えているのに気がつきました。建物に邪魔されて一部しか見えなかったけれど、うっすらと副虹（主虹の外側に見える、もう一つの虹。条件がよいと虹は二重に見えます）も見えて、通りがかりの人に「虹が出てますよ」と教えたくなるような、嬉しい気持ちになりました。

カウンセリングで、「コラージュ作り」という手法が使われることがあります。画用紙の上に、雑誌などから切り抜いた写真や文字を自由に貼り付けて、何かを作ります。

はじめはどんなものができるかわからなくても、気になった写真を何となく貼り合わせていくと、思ってもいなかったようなお気に入りの作品が自然にできあがることもあります。同じ人が作ってもその時々で違う雰囲気仕上がりだったり、同じ作品でも、しばらく経って見返してみるとまた違って見えてきたり。作品の印象を互いに話し合ってみると、自分とは違う感じ方に、新しい発見があったりします（言葉で感想を伝えることをしないで、じっくり味わうこともあります）。

カウンセリングで話されることは、すぐに解決できなかつたり、答がなかなか見つからなかつたりすることもたくさんあります。それでも、何度か話しているうちに、前に話した出来事の印象や感じ方が違ってきたり、全然関係ないと思っていた出来事の間につながりが見えてきたり。ふとしたときに、「前とは違うな」と感じる瞬間がやってきます。

困ったな、と思ったとき、一人でじっくり問題に向き合うことも大切ですが、誰かに話してみることで見えてくることや変わってくることもきっとあるでしょう。「こんなこと話して大丈夫かな」「うまく話ができるかな」など、不安に感じることもあるかもしれないけれど、一人で頑張るのに疲れてきたら（疲れていなくても）カウンセリングスペースへ足を運んでみてくださいね。

『迷う必要のない楽さ』

金曜日担当 道嶋 公子

今年も夏山登山へ。いつも行き先を決めるのはダンナさん。

私「夏どこへ行くの？」 ダンナ「剣岳」

私「そこって怖い？」 ダンナ「20年前に行ったけど覚えてないからその程度のところ」

ちょっと心配になったのでネットで調べてみると…。今年だけでも4人滑落して死亡するとか鎖場が多く危険とかいろいろ載っている。読むだけで手に汗って感じで…。でもダンナさんは私なら大丈夫って言っているしということで行くことに。

一日目はふもとのキャンプ場にテントを張り、次の日に備えた私たち。朝起きると辺りは霧に包まれている。

私「剣岳登る？」 ダンナ「とりあえずいけるところまで行ってみよう」

この時の私の気持ちは怖いもの見たさ20%、チャレンジしてみたい気持ち40%、私だったら大丈夫という根拠のない自信40%。ところがずんずん進むにつれて「行ったらアカンのと違う？」という気持ちが膨らんできて。

運命の分かれ道だったのが橋の後に険しい鎖場が見えた箇所。そこでかなり躊躇した。しかし、結局前に進むことに。高所恐怖症なのになぜ？なんだろう～。このまま帰ったら晩御飯がおいしくないって思ったことがひとつ。それとやっぱり自分の体の限界を試してみたかったのがひとつ。行く前に見に行ったサーカスのKOOZAの影響は大きい。自分の体を支える腕力には自信あり。しかし集中を切らすことが全くできない山でした。でもこういう山だからこそ迷う必要のない楽さがありました。

山頂登頂後にカニの横ばいと言われる危険な箇所がありました。でも、「怖い・・・どうしよう」ではなく、そこを通らないと降りれない。だから行くしかないのです。細心の注意を払って勇気を振り絞ってとにかく行くしかない！決心することを何度も練習させてもらった気がします。ちなみにダンナさんはここで妻が滑落したらどうしようと本当に怖かったみたいです。

ということで無事に下山した私たちはおいしい晩御飯をいただきました。先のことを不安に思いすぎずに心を無にして今の自分がすべきことを体験できた、そんな夏山登山でした。

めでたし、めでたし。

『orz...ネット世界と現実の世界』

月曜日担当 石井 邦也

春、3月。後期の卒業式があった。新たに261名の生徒さんが巣立って行った。いろんな道に進むのだろう。卒業は一つの区切り、出発点でもある。一人ひとりが進む道の途中で、立ち止まったり、後ろに下がったりをすることなど、いろんなことに出会うことだろうけれど、納得のいく人生を送ってほしいなと心から思う。

讃美歌 405 は送別のときによく歌われる。「荒野に行くときも、嵐が吹くときも、どうか神様が一緒にいて、力を与えてください...」という祈りの歌だ。Good byの語源といわれる“God be with you”(神とも居まして)の英語の歌詞とともに私の好きな讃美歌の一つだ。

式を終え、会場であった土佐堀から天王寺に戻った。1階の職員席で仕事をしていると、揺れを感じた。窓のブラインドも大きく揺れている。PCを見ていた同僚が、震源地が東北であることを伝えてくれた。その直後、5階が水浸しであるという連絡が入り、急遽駆けつけた。プールの水が溢れたとのことである。モップや雑巾、ホウキで水をかき出し、バケツで水を取り除いたりした。

阪神淡路の震災のことが思い起こされたが、事態はもっと深刻だった。家や車が積み木のように津波で押し流されている。

そしてフクシマ原発からの放射能漏れの被害が大きく広がっていった。多くの命が失われ、漁業・農業・畜産業が広く打撃を受け、多くの人たちの生活の場が奪われていった。

『 orz 』(オルツ)

前期のカウンセリングの中で教えてもらった言葉である。「大変な目にあったよ」というネット言葉である。oは頭部、rが腕と胸、zが腰と足。「orz」は、うなだれ参った状態を表しているという。この前期、面接でお話を聴いていて、生徒さんたちが「ネットの世界」・「2次元の世界」から、大きな影響を受けていることを改めて感じさせられた。現実(リアル)の生活の中で充実感が持てないときなどに、ネット(非リアル)の世界に深く入り込み、そうすることで満たされない気持ちを埋め合わせたり、逆に傷を負ったり憤慨したりする。そんな体験を何度か耳にしたのである。

震災の現実を直視し、私たちにはどんなことができるのだろうか。5ヶ月が経った頃、フクシマの高校生が長崎に招待されていることがテレビで報じられていた。「戦後66年、被爆したことの辛さから立ち上がる努力を、私たちはずっと続けてきた。そのことの力を少しでも伝えられたらうれしいよ、そんなことが語られていた。大江健三郎は『ヒロシマ・ノート』の中で、広島で被爆しさまざまな困難に直面しながらも、「それでも、屈服しない人々」を描いている。

「荒野に行くときも、嵐が吹く時もどうか神様が一緒にいて、力を与えてください...」。祈りを深くしたいものである。

進路サポートスペース

『進路サポートスペース(SSS)』が5月よりスタートしています。

就職、進学に関わらず自分の将来のことについて何でもいいので「おしゃべり」できる場所です。最近、進路サポートスペースを利用してくれる方が増えてきました。

興味のある人は気楽な気持ちで来てください。(予約制)

働くことに関する悩みや迷いのある人、自分らしい「生き方」や「働き方」探しを応援しています。

*9月・10月の開室日時と担当者

対 象 生徒・保護者・卒業生

実施日時・担当

10月より「進路サポートスペース」は、第1、第3月曜日の月2回に変更となります。

期日 9月26日(月)、10月3日(月)、17日(月)

時間 10時~13時

担当 林田 明子さん(大阪府若者サポートステーションカウンセラー)

場 所 本校カウンセリングスペース(2階)

* 1人50分。(予約制)

* 予約は、金子・大谷までご連絡ください。

第54回近畿高等学校通信制課程体育大会 参加者大募集

年に一度の近畿圏（大阪・兵庫・京都・和歌山・奈良・滋賀）の通信制高校（公立・私学）の体育大会が下記日程で行われます。本校からは、「卓球」「テニス」「バドミントン」「バレーボール」「バスケットボール」に参加予定しています。



競技(クラブ活動)経験者

1年以上

目指せ！総合優勝！！

記

- 【日時】：2011年11月13日(日) 8:30~16:30
- 【場所】：大阪府堺市金岡公園(体育館、野球場、テニスコート)
堺市金岡北中学校体育館
大阪府立桃谷高等学校体育館
- 【集合】：参加競技によって集合場所が変わります。
例)大阪市営御堂筋線「新金岡駅」8:30集合
- 【競技種目】：卓球(男女)・軟、硬式テニス(男女)・
バドミントン(男女)バレーボール(男女)・
バスケットボール(男女)
- 【対象】：本校在籍生で、各競技の経験者(1年以上)
- 【申込み】：職員室カウンターにて必要事項を記入してください。
(申し込み開始日は、後日案内します。)
- 【締切】：10月3日(月)までに人数のそろわなかった種目については、参加できない場合があります。
- 【その他】：参加費は不要ですが、交通費、昼食代等は各自負担となります。
- 【特別活動】：5時間認定します。

不明な点は担当(保健体育科)まで問い合わせてください。

集合解散時間などの詳細(要項)は、申込者に後日案内します。



今月の聖句



たね ま ひと かみ ことば
種を蒔く人は、神の言葉を
ま
撒くのである。

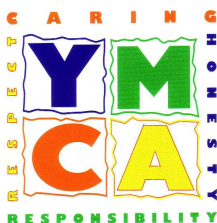
(マルコによる福音書 4章14節 (新共同訳))

YMCA学院高等学校の授業で言い続けていることがあります。それは、「聖書はラブレター」ということです。

このごろは、携帯電話もメールも使えますから、コクするツールは多様です。でも、ラブレターをもらったらうれしくはありませんか？

聖書は神からのラブレターです。この聖書の箇所では神の言葉を「種」と表現し、種をまく人に言及げんきゅうしています。まく人の能力や技術に関係なく、種には命ひが秘められています。

命と力にあふれた種をまき続けたいと思います。いつか、芽が出て、花が咲いたり実を結ぶことを信じて。



(浪速教会 村山 盛芳牧師より)

南YMCA「基督教」委員会